



平成28年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成27年11月6日

上場会社名 コタ株式会社 上場取引所 東証第一部  
 コード番号 4923 URL http://www.cota.co.jp/  
 代表者 (役職名)代表取締役社長 (氏名)小田 博英  
 問合せ先責任者 (役職名)取締役経理部長 (氏名)廣瀬 俊二 TEL (0774) 44-4923  
 四半期報告書提出予定日 平成27年11月10日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成28年3月期第2四半期の業績 (平成27年4月1日～平成27年9月30日)

(1) 経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年3月期第2四半期	2,583	2.2	223	19.2	221	16.8	155	25.3
27年3月期第2四半期	2,527	7.2	187	3.1	189	3.4	124	8.8

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
28年3月期第2四半期	円 銭 11.87	円 銭 —
27年3月期第2四半期	8.90	—

(注) 当社は、平成27年4月1日付で普通株式1株につき1.2株の割合で株式分割を行っております。

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
28年3月期第2四半期	百万円 7,163	百万円 5,811	% 81.1
27年3月期	7,556	5,858	77.5

(参考) 自己資本 28年3月期第2四半期 5,811百万円 27年3月期 5,858百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
27年3月期	円 銭 —	円 銭 0.00	円 銭 —	円 銭 18.00	円 銭 18.00
28年3月期	—	0.00	—	—	—
28年3月期(予想)	—	—	—	16.00	16.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

当社は、平成27年4月1日付で普通株式1株につき1.2株の割合で株式分割を行っております。

3. 平成28年3月期の業績予想 (平成27年4月1日～平成28年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
通期	百万円 6,500	% 5.1	百万円 1,105	% 12.5	百万円 1,091	% 13.6	百万円 730	% 16.6	円 銭 55.65

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
  - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
  - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
  - ④ 修正再表示 : 無
- (3) 発行済株式数（普通株式）

- ① 期末発行済株式数（自己株式を含む）
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数（四半期累計）

28年3月期2Q	13,967,514株	27年3月期	13,967,514株
28年3月期2Q	852,827株	27年3月期	849,624株
28年3月期2Q	13,115,223株	27年3月期2Q	13,959,161株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は、さまざまな要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期財務諸表	5
(1) 四半期貸借対照表	5
(2) 四半期損益計算書	6
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 四半期財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期累計期間におけるわが国経済は、企業収益や雇用環境の改善など、緩やかな回復基調が続いておりますが、消費者物価の上昇による個人消費の伸び悩みなど、先行きは不透明な状況で推移いたしました。

一方で、美容業界におきましては、来店客数の減少や客単価の伸び悩み等、依然、美容室にとって厳しい経営環境が続いております。

このような状況の中、当社におきましては創業精神である「美容業界の近代化」をベースに、独自のビジネスモデルである「旬報店システムを軸としたコンサルティング・セールス」と「トイレットリーの販売を中心とした店販戦略」を引き続き展開し、美容室の業績向上に向けた提案や経営に関する支援を行いました。

売上高につきましては、前期に発売した整髪料の新製品の反動もありましたが、主力のトイレットリーに加え、平成27年8月に発売したカラー剤の新製品も好調であったことから前年同四半期を上回りました。

また、売上原価につきましては、原価管理の見直し等を行っていることから、原価率は前年同四半期を下回りました。販売費及び一般管理費につきましては、新製品の発売に伴う費用等が増加したものの、全体といたしましては、前年同四半期と比べほぼ横ばいとなりました。

これらの結果、当第2四半期累計期間の売上高は2,583百万円（前年同四半期比2.2%増）、営業利益は223百万円（前年同四半期比19.2%増）、経常利益は221百万円（前年同四半期比16.8%増）、四半期純利益は155百万円（前年同四半期比25.3%増）となりました。

なお、当社は第1四半期会計期間より美容室向け頭髮用化粧品、医薬部外品の製造、販売事業の単一セグメントへ変更しているため、セグメント情報の開示は行っておりませんが、売上高の内訳は、以下のとおりであります。

	前第2四半期累計期間		当第2四半期累計期間		増減額 (百万円)	増減率 (%)
	金額 (百万円)	構成比 (%)	金額 (百万円)	構成比 (%)		
トイレットリー	1,480	58.6	1,712	66.4	231	15.7
整髪料	634	25.1	427	16.5	△207	△32.7
カラー剤	188	7.5	233	9.0	44	23.8
育毛剤	86	3.4	90	3.5	4	4.6
パーマ剤	61	2.4	61	2.4	0	0.6
その他	75	3.0	57	2.2	△17	△23.4
合計	2,527	100.0	2,583	100.0	55	2.2

## (2) 財政状態に関する説明

### ① 資産、負債及び純資産の状況

#### (総資産)

当第2四半期会計期間の総資産は、前事業年度から392百万円減少し、7,163百万円となりました。

主な要因としては、商品及び製品が214百万円増加し、受取手形及び売掛金が528百万円、有価証券が74百万円減少したことによるものであります。

#### (負債)

当第2四半期会計期間の負債は、前事業年度から346百万円減少し、1,352百万円となりました。

主な要因としては、販売奨励引当金が92百万円増加し、未払金が313百万円、未払法人税等が141百万円減少したことによるものであります。

#### (純資産)

当第2四半期会計期間の純資産は、前事業年度から46百万円減少し、5,811百万円となりました。

主な要因としては、利益剰余金41百万円が減少したことによるものであります。なお、自己資本比率は、81.1%(前事業年度77.5%)となりました。

### ② キャッシュ・フローの状況

当第2四半期会計期間末における現金及び現金同等物(以下、「資金」という。)は、前事業年度末より72百万円減少し、2,153百万円(前年同四半期比176百万円減)となりました。

当第2四半期累計期間における各キャッシュ・フローの状況は、以下のとおりであります。

#### (営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動により得られた資金は、110百万円(前年同四半期比57百万円減)となりました。

収入の主な要因としては、税引前四半期純利益221百万円及び売上債権の減少528百万円であり、支出の主な要因としては、たな卸資産の増加239百万円、法人税等の支払いによる支出243百万円によるものであります。

#### (投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動により得られた資金は、18百万円(前年同四半期は31百万円の支出)となりました。

支出の主な要因としては、有形固定資産の取得による支出11百万円及び無形固定資産の取得による支出17百万円、投資有価証券の償還による収入50百万円によるものであります。

#### (財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動により使用した資金は、201百万円(前年同四半期比11百万円減)となりました。

支出の主な要因としては、配当金の支払いによる支出196百万円であります。

## (3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

今後の経営環境につきましては、消費者物価の上昇による個人消費の伸び悩みなど、不透明な要素が多く、美容室の経営に直接影響する事態も想定されることから、当社の業績に影響を及ぼすことも考えられます。

しかしながら、第3四半期以降につきましては、美容業界の繁忙期と重なることに加え、11月から12月にかけて当社製品の販売コンクールである「コタ全国店販コンクール」を開催しており、「コタ アイ ケア」を中心とした利益率の高いトイレットリーの需要増加が見込まれることから、平成27年5月8日に公表いたしました通期の業績予想に変更はございません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

## 3. 四半期財務諸表

## (1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成27年3月31日)	当第2四半期会計期間 (平成27年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	23,741	25,662
受取手形及び売掛金	1,260,174	731,842
有価証券	2,202,484	2,127,844
商品及び製品	499,009	713,613
仕掛品	6,365	4,375
原材料及び貯蔵品	168,915	195,623
その他	124,056	181,172
流動資産合計	4,284,746	3,980,134
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	1,287,227	1,240,391
土地	1,158,906	1,158,906
その他(純額)	309,573	271,777
有形固定資産合計	2,755,706	2,671,075
無形固定資産	43,988	89,490
投資その他の資産	472,405	423,242
固定資産合計	3,272,100	3,183,808
資産合計	7,556,846	7,163,942
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	126,395	106,636
未払金	441,265	127,356
未払法人税等	252,000	111,000
賞与引当金	182,984	165,718
役員賞与引当金	—	13,604
販売奨励引当金	41,610	134,314
その他	113,124	123,914
流動負債合計	1,157,379	782,543
固定負債		
役員退職慰労引当金	422,060	449,028
長期預り保証金	119,328	120,528
固定負債合計	541,388	569,556
負債合計	1,698,767	1,352,099
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	387,800	387,800
資本剰余金	330,801	330,801
利益剰余金	5,953,912	5,912,817
自己株式	△815,212	△820,145
株主資本合計	5,857,300	5,811,273
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	778	569
評価・換算差額等合計	778	569
純資産合計	5,858,078	5,811,842
負債純資産合計	7,556,846	7,163,942

## (2) 四半期損益計算書

第2四半期累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)
売上高	2,527,751	2,583,730
売上原価	710,803	717,779
売上総利益	1,816,948	1,865,950
販売費及び一般管理費	1,629,160	1,642,033
営業利益	187,787	223,917
営業外収益		
受取利息	855	827
受取配当金	1,625	1,509
受取賃貸料	3,352	3,093
業務受託料	—	2,500
その他	1,815	2,060
営業外収益合計	7,649	9,991
営業外費用		
たな卸資産廃棄損	3,474	9,836
その他	1,963	2,168
営業外費用合計	5,437	12,005
経常利益	189,999	221,903
税引前四半期純利益	189,999	221,903
法人税、住民税及び事業税	97,491	102,820
法人税等調整額	△31,771	△36,589
法人税等合計	65,719	66,230
四半期純利益	124,280	155,673



(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税引前四半期純利益	189,999	221,903
減価償却費	139,818	108,709
賞与引当金の増減額(△は減少)	△14,544	△17,266
役員賞与引当金の増減額(△は減少)	12,321	13,604
前払年金費用の増減額(△は増加)	5,841	12,622
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	21,118	26,968
その他の引当金の増減額(△は減少)	101,589	92,703
受取利息及び受取配当金	△2,481	△2,337
売上債権の増減額(△は増加)	522,615	528,266
たな卸資産の増減額(△は増加)	△216,828	△239,322
仕入債務の増減額(△は減少)	22,915	△19,758
その他	△330,534	△374,235
小計	451,829	351,858
利息及び配当金の受取額	2,359	2,097
法人税等の支払額	△286,396	△243,240
営業活動によるキャッシュ・フロー	167,792	110,716
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△26,426	△11,280
無形固定資産の取得による支出	—	△17,000
投資有価証券の償還による収入	—	50,000
その他	△5,284	△3,302
投資活動によるキャッシュ・フロー	△31,710	18,417
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
自己株式の取得による支出	△2,142	△4,932
配当金の支払額	△210,940	△196,920
財務活動によるキャッシュ・フロー	△213,083	△201,852
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△77,001	△72,718
現金及び現金同等物の期首残高	2,407,088	2,226,225
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,330,086	2,153,506

(4) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期累計期間(自 平成26年4月1日 至 平成26年9月30日)

「II 当第2四半期累計期間(自 平成27年4月1日 至 平成27年9月30日) 2 報告セグメントの変更に  
関する事項」に記載のとおりであります。

II 当第2四半期累計期間(自 平成27年4月1日 至 平成27年9月30日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

当社は美容室向け頭髪用化粧品、医薬部外品の製造、販売事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

2 報告セグメントの変更等に関する事項

当社は、従来「トイレットリー事業」、「整髪料事業」、「カラー剤事業」、「育毛剤事業」、「パーマ剤事業」、「その他事業」の6事業を事業セグメントとしておりましたが、第1四半期会計期間より「美容室向け頭髪用化粧品、医薬部外品の製造、販売事業」の単一セグメントに変更しております。

当社の事業展開、経営管理体制の実態、また取締役会における経営資源の配分の決定及び事業の評価を一元的に行っていること等を踏まえ、事業セグメントについて再考した結果、業務用頭髪用化粧品等の製造及び販売を一体的な事業と捉えている現状を考慮し、事業セグメントは「美容室向け頭髪用化粧品、医薬部外品の製造、販売事業」の単一のセグメントが適切であると判断したことによるものであります。

この変更により、当第2四半期累計期間のセグメント情報の記載を省略しております。